ホタテガイ増養殖安定化推進事業 ホタテガイ垂下養殖実態調査 - I (平成24年5月)

小谷 健二・吉田 達・伊藤 良博・東野 敏及*・川村 要

目 的

本調査は陸奥湾におけるホタテガイの垂下養殖の実態を把握し、適正養殖を推進することを目的に、昭和 52 年以降、春秋の 2 回実施しているものであり、ここでは、5 月に行われた春季調査の結果を報告する。

1. 養殖貝成育状況調查

- (1)調查内容
- 1)調査期間

平成 24 年 5 月 14 日~5 月 17 日

2)調查対象組合

陸奥湾内(外ヶ浜~脇野沢村)23漁業協同組合および支所(連絡所)

3)調查対象貝

平成 23 年産貝

4)調査対象者及び調査連数

陸奥湾内の全養殖業者の5%を基準に59経営体を調査対象者として無作為に抽出し、下表のとおりサンプルを採取して調査を行った。

調査対象貝	調査連数
パールネット	71 (77)
耳吊り	34 (29)
丸 篭	8 (7)
合 計	113 (113)

()内は前年度

5)調査方法

施設が設置されている海上で、原則として1調査対象者当り2施設からホタテガイ各1連を採取するとともに連間隔を実測した。陸揚げされたホタテガイは、1連のうち20個体の殻長、全重量、軟体部重量を測定した。異常貝の出現割合は1連のうち50個体から、へい死の割合は全数から求めた。

また、北海道の噴火湾で養殖ホタテガイに大量に付着し、漁業被害を及ぼしているヨーロッパザラボヤ¹⁾について、陸奥湾での生息状況を把握するため、本調査時にパールネットの中段 1 段とその中のホタテガイに付着している数を調査した。

^{*}青森県下北地域県民局地域農林水産部むつ水産事務所

(2)調査結果

これまでのへい死率、異常貝出現率の推移を図1および付表1-1~1-2に、今年度の組合・養殖方法別実 態調査結果を付表2-1~2-2に、養殖方法別の殻長、全重量、軟体部重量、軟体部指数、収容枚数の平均値 の推移を図2~6に示した。また、昭和60年以降の養殖方法別の調査結果を付表3-1~3-4に示した。

へい死率は、全湾平均で 5.3% と過去 27 年間(昭和 60 年~平成 23 年)の平均値(4.6%)よりも高く、平成 18 年、平成 6 年、平成 19 年、平成 22 年、平成元年、平成 21 年に次いで 7 番目に高かった。組合・養殖方法別にへい死率を見ると、後潟と青森地区の一部地区(青森市奥内、原別、久栗坂)のパールネットが 11.2~33.7%、平内町土屋から浦田のパールネットが 16.8~26.3%と他の地区よりも高い値であった。

異常貝出現率は、全湾平均で 0.9%と過去 27 年間の平均値 (4.5%)よりも低く、平成 18 年に次いで 2 番目に低かった。組合・養殖方法別に異常貝出現率を見ると、後潟のパールネットが 2.4%、青森市奥内のパールネットが 3.1%、平内町浦田のパールネットが 2.5%、平内町小湊のパールネットと耳吊りがそれぞれ 4.2%、2.5%、川内町のパールネットが 4.0%と高い値であった。

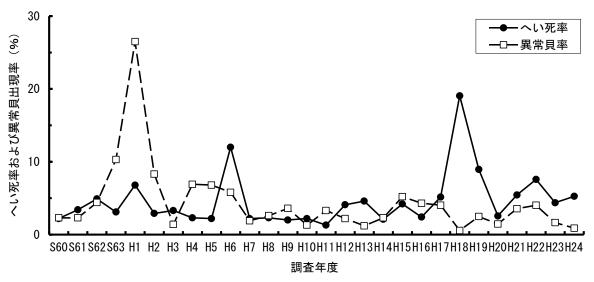


図 1 へい死率および異常貝出現率(全湾平均)の推移

設長、全重量、軟体部重量及び軟体部指数の全湾平均値は、それぞれ 6.9cm、34.3g、12.5g、36.5と、過去 27 年間の平均値 (7.4cm、46.9g、18.2g、38.8)と比較するといずれも平均値を下回り、全重量が平成 18 年、昭和 61 年に次いで 3 番目に低く、軟体部重量が平成 18 年に次いで 2 番目に低く、軟体部指数が平成 10 年、平成 23 年に次いで 3 番目に低かった。養殖方法別では、パールネットが設長 6.8cm、全重量 33.0g、耳吊りが設長 7.0cm、全重量 38.8g、丸篭が設長 6.7cm、全重量 33.3g であった。組合別の設長は、外ヶ浜町平舘、青森市油川のパールネットと平内町小湊の耳吊りが 7.3cm と最も大きく、田名部のパールネットが 5.7cm と最も小さかった。全重量では青森市油川のパールネットで 40.5g、平内町土屋と小湊の耳吊りでそれぞれ 41.8g、43.1g、野辺地町の耳吊りでそれぞれ 41.1g と高い値を示したが、平内町土屋のパールネットと田名部のパールネットでそれぞれ 28.1g、19.8g と特に低い値を示した。

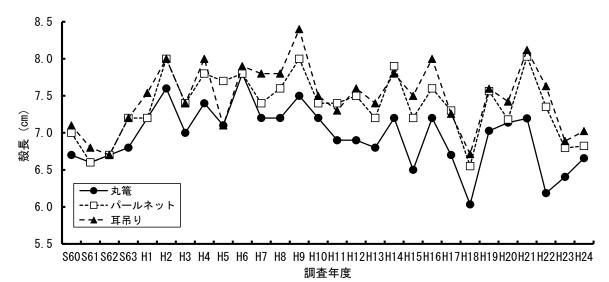


図 2 養殖方法別殼長(全湾平均)の推移

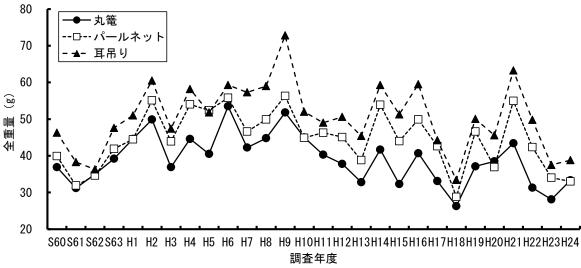


図3 養殖方法別全重量(全湾平均)の推移

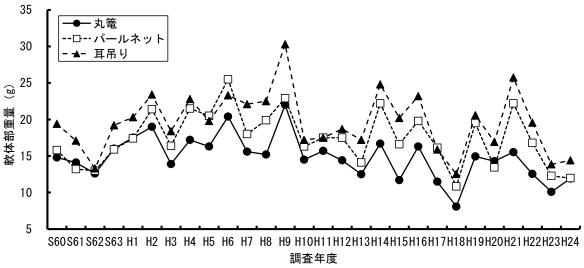


図 4 養殖方法別軟体部重量(全湾平均)の推移

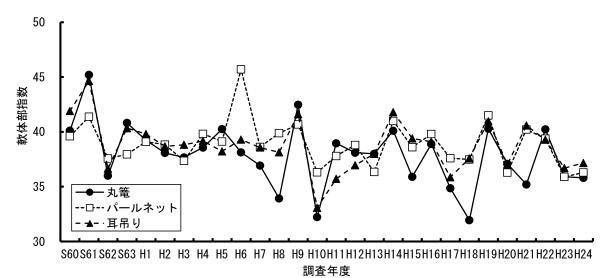


図 5 養殖方法別軟体部指数(全湾平均)の推移

連間隔は全湾平均で 42.0cm と、過去 27 年間の平均値 (40.6cm)および過去 10 年の値 (28.9~36.5cm)より も広い値であった。

全湾平均の幹綱 1m 当りの収容枚数は 578 枚/m と、過去 27 年間の平均値 (488 枚)より多く、過去 10 年 (491 ~710 枚)と比べると平成 23 年、平成 17 年に次いで 3 番目に少ない値であった。養殖方法別ではパールネットが 610 枚/m、耳吊りが 507 枚/m、丸篭が 398 枚/m と、耳吊りと丸篭の収容枚数が過去 27 年間の平均値 (それぞれ 495 枚、396 枚)とほぼ同じであった。組合別に見ると、後潟、青森市奥内、原別、久栗坂、平内町土屋、茂浦、浦田、清水川、田名部、むつ市のパールネット、平内町土屋と浦田の耳吊りで 700 枚/m 以上と高い収容枚数となっていた。

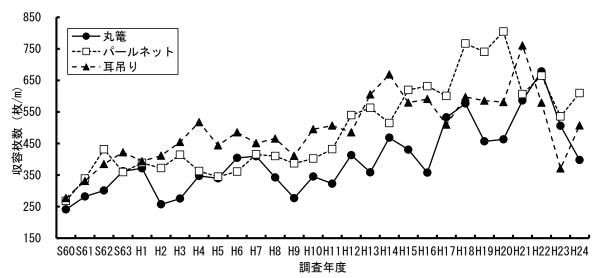


図 6 養殖方法別幹綱 1m 当り収容枚数(全湾平均)の推移

表1にヨーロッパザラボヤの付着状況を示した。

陸奥湾内 23 漁協・支所のうち、22 漁協・支所において 72 連のパールネットを調査した結果、パールネット 1 段当 りのヨーロッパザラボヤの付着数は、全湾平均で 0.3 個/段と、平成 23 年 (0 個/段)よりもやや多い状況であった。

地区別に付着状況を見ると、外ヶ浜町平舘、同町蟹田、 青森市奥内、平内町土屋、同町小湊、野辺地町で付着が見 られ、青森市奥内と野辺地町で1.5個/段と最も多く付着し ていた。

表 1 パールネット中段 1 段当りの ヨーロッパザラボヤの付着状況

		7 7 11 10	13 /自 1八 //
7	漁協•支所	調査連数	平均付着数 (個/段)
外	ヶ浜町平舘	4	
外	ヶ浜町蟹田	6	0. 3 0. 2 0. 0
蓬	田村	4	0. 0
後	爲	4	0.0
	奥内	4	1. <u>5</u> 0. 0 0. 0 0. 0
	油川	2	0. 0
青	青森	2	0. 0
森	造道	2	0. 0 0. 0 0. 0
市	原別	2	0. 0 0. 0
	野内	2	0. 0
	久栗坂	2	0. 0
	土屋	2 2 2 2 2 2 3 3	1. 0
平	茂浦		0.0
内	浦田	4	0. 0 0. 0 0. 6 0. 0 1. 5
町	東田沢	5	0. 0
"'	小湊	7	0. 6 0. 0
	清水川	4	0. 0
野:	辺地町	4	1. 5
横,	浜町	_	_
	名部	2	0. 0 0. 0
<u>む</u>	つ市	3	0. 0
Ш	力町	1	0. 0
脇	野沢村	72	0. 0 0. 3
計	(平均)	72	0. 3

2. 養殖数量・稚貝採取および利用計画

- (1)調査内容
- 1)調査時期

平成 24 年 5 月

2)養殖数量調查

平成 22 年産および平成 23 年産ホタテガイの販売済み数量と養殖方法別保有数量を全養殖業者から聞き 取り調査した(平成 24 年 4 月 30 日現在)。

3) 稚貝採取及び利用計画

平成 24 年産ホタテガイ稚貝の採取および利用計画数量等を全養殖業者から聞き取り調査した(平成 24 年 4 月 30 日現在)。

(2)調査結果

養殖数量調査結果を付表 4、5 に、稚貝採取予定数量および利用計画を付表 6 に示した。

平成 22 年産貝の保有枚数は、4 月 30 日現在で成貝用が 6,136 万枚であった。また、販売済み数量は、 稚貝が 542 トン、半成貝が 22,084 トン、新貝が 7,009 トン、成貝が 4,922 トンであった。

平成 23 年産貝は、4 月 30 日現在で 3,206 万枚が地まき放流され、稚貝・半成貝として 9,222 トン(推定枚数 5,392 万枚)が販売された。保有数量は、半成貝用が 9 億 1,046 万枚、新貝用が 2 億 3,322 万枚、成貝用が 1 億 3,578 万枚の合計 12 億 7,946 万枚であった。

平成 24年の総採苗者数は 1,103名で、採苗予定数量は 24億2,571万枚、一人当りの平均採苗予定数量

は 220 万枚であった。採苗した稚貝の利用計画は、養殖用が 20 億 3,598 万枚、移出用が 615 万枚、地まき 用が 6,694 万枚であった。養殖用稚貝の内訳は、半成貝用が 12 億 5,384 万枚 (61.6%)、新貝用が 5 億 7,555 万枚 (28.3%)、成貝用が 2 億 659 万枚 (10.1%)となっていた。

3. 考 察

平成 23 年産貝のへい死率は、全湾で昭和 60 年以降の平均値より 0.7%高く、特に後潟と青森地区の一部地区(青森市奥内、原別、久栗坂)および平内町土屋から浦田のパールネットで高い結果となった。これらの地区では12月下旬から2月上旬にかけて長期間継続した冬季風浪に起因する養殖施設の動揺によって貝がぶつかり合い、傷害を受けたためと考えられた。

また、成長の指標となる殻長、全重量、軟体部重量、軟体部指数が、いずれも昭和 60 年以降の平均値を下回った。この要因として、12 月下旬から 5 月の水温が例年よりもはなはだ低めに推移したことや、ハイドロゾア、ユウレイボヤ、群体ボヤ等の付着生物による餌の競合やパールネット・丸篭内の潮通しの低下が考えられた。

ョーロッパザラボヤは、一部の地区で付着が確認されたものの、現状では漁業に被害を及ぼす状況とはなっていない。しかし、噴火湾においてヨーロッパザラボヤがホタテガイに大量付着するとホタテガイの成長に悪影響を及ぼすことが明らかとなっており²⁾、陸奥湾も同様の事態にならないとも限らないことから、今後ともモニタリングを継続していく必要がある。また、パールネット等にザラボヤの付着が確認された場合は、再生産をさせないよう分散作業等の際に着実に処分をする必要がある。

4. 引用文献

- 1) 菅原理恵子 (2009) 耳吊ホタテにザラボヤが大量付着!. 北水試だより,78,22.
- 2)菅原理恵子・馬場勝寿 (2010) 養殖ホタテガイの成長モニタリング調査. 函館水試事業報告書,34-37.

\死率の年度別推移
恶
Ή×
HI.
स
6
掛
死
ے
(
Ŕ
+
46
IJ
調査に
態調査に
実態調査に
を実態調査に
F季実態調査に
春季実態調査におけるへい
付表1-1 春季実態調査に

3.2 23.0 992.0 770.0 36.0 332.0 44.0 48.0 58.0 92.0 74.4 15.2 7.6 12.7 14.0 5.6 9.9 27. 0 25. 1 38. 1 26. 80. 00 $\dot{\circ}$ 26.0 61.0むつ市・田名部 川内町・脇野沢村 16.0 5.0 1.8 8.0 0.9 10.9 2.6 0.8 38.0 14.0 22.0 ∞ 野辺地町・横浜町 1.6 7. 3 16. 0 6. 0 10. 3 3. 2 8. 6 38. 0 36. 0 14. 0 12. 0 24. 0 58. 0 12. 7 10. 8 88 86. 平内町 坏内据 27. 0 10. 1 38. 1 0 20. 13. 9. 20. 2. 3. 111. 92. 70. 20. 25. 58. .89 ・青茶戸 屋 森 後潟・ 12. 3 0. 4 0. 0 0. 0 0. 7 1. 0 0. 4 0. 4 0. 2 4. 3 14.0 46. 25. 5. 2. 3. 春季実態調査における異常貝出現率の年度別推移 3. 9 115. 8 8. 6 8. 6 9. 115. 8 9. 115. 8 9. 116. 0 110 00 62. 外ヶ浜町・蓬田村 癜 0.0 61年產員 60年產員 59年產員 57年產員 57年產員 55年產員 55年產員 54年產員 53年產員 元年産貝 63年産貝 9年産貝 8年産貝 Ш(Ш(23年産月 22年産月 10年産月 62年産月 7年産月 6年産 5年産 4年産 3年産 2年産月 調香対 地区别内訳 平成23年度 平成22年度 平成21年度 平成20年度 平成18年度 平成17年度 平成16年度 昭和62年度 昭和61年度 昭和54年度 昭和53年度 平成11年度 平成10年度 平成9年度 平成7年度 平成6年度 平成5年度 平成元年度 承 承 承 座 承 承 座 庚 庚 座 座 座 平成8年度 平成4年度 平成3年度 平成2年度 年度 平成15年月 平成14年月 平成13年月 昭和58年周 平成19年月 平成12年 昭和63年, 昭和60年 昭和59年 昭和57年, 昭和55年, 平成24年 昭和56年 調查4 付表1-2 畔 疶 Ш(丑 賦 揪 %

0 0 С

付表2-1 春季実態調査結果(組合·養殖方法別)

漁協	・支所	養殖方法	調査	へい死率	異常貝率	ポリドラ異常貝	殼長	全重量	軟体部	軟体部	連間隔		収容数	
		の区分	連数	(%)	(%)	(%)	(cm)	(g)	重量 (g)	指数	(cm)	(枚/段)	(枚/連)	(枚/m)
	ヶ浜町 平舘)	パール 耳吊り 丸 <u>篭</u>	$\begin{array}{c} 4 \\ 0 \\ -\frac{0}{4} \end{array}$	3.0	0.5	0.0	7.3	36. 9	13. 5	36. 6	57. 0	10.0	115	210
		計平均	4	3. 0	0. 5	0. 0	7.3	36. 9	13. 5	36. 6	57. 0	10.0	115	210
	ヶ浜町 蟹田)	パール 耳吊り 丸 篭	6 0 0	2. 9	1. 7	0.0	6.8	30. 2	11.5	37. 8	54. 3	25. 1	329	665
		計	-6											
		平 均パール	4	2. 9	1. 7	0.0	6.8 7.1	30. 2 35. 5	11. 5 13. 4	37. 8 37. 8	54. 3 55. 2	25. 1 21. 8	329 218	665 395
蓬	医田村	耳吊り 丸 <u>篭</u>	$\frac{0}{4}$						+					
		計平均	4	1. 5	0.0	0.0	7. 1	35. 5	13. 4	37. 8	55. 2	21. 8	218	395
後	後 潟	パール 耳吊り 丸 <u>篭</u>	4 0 0	33. 7	2. 4	0.0	6. 7	31. 4	11.7	37. 3	35. 8	28. 6	286	796
		計平均	$-\frac{0}{4}$	33. 7	2. 4	0.0	6. 7	31. 4	11.7	37.3	35.8	28. 6	286	796
	奥内	パール 耳吊り 丸篭	4	22. 2	3. 1	1.8	6.8	32. 3	11. 1	34. 3	21. 8	30. 1	241	1, 522
		計平均	4	22. 2	3. 1	1.8	6.8	32. 3	11.1	34. 3	21.8	30. 1	241	1, 522
_	油川	パール 耳吊り	2	3.8	1. 0	0.0	7. 3	40. 5	14. 6	35. 9	37. 5	15. 9	159	426
		丸篭 計 平均	2	3.8	1.0	0.0	7.3	40. 5	14.6	 35. 9	 37. 5	15. 9	159	426
青	青森	パール 耳吊り	2	6.6	0.0	0.0	6.6	31. 0	10.6	34. 1	32. 1	22. 9	183	571
		丸篭 計 平均	2	6.6	0.0	0.0	6.6	31.0	10.6	34. 1	32. 1	22. 9	183	571
森	造道	パール 耳吊り 丸篭	2	7. 1	0.0	0.0	6. 4	31. 2	11. 1	35. 7	27. 5	13. 2	106	387
		八 <u>电</u> 計 平均	2	7.1	0.0	0.0	6.4	31. 2	11. 1	35. 7	27. 5	13. 2	106	387
市	原別	パール 耳吊り 丸篭	2	17. 2	0.0	0.0	7. 2	39. 7	13. 0	32. 8	25. 0	19. 7	197	789
		計平均	2	17. 2	0.0	0.0	7. 2	39. 7	13. 0	32. 8	25. 0	19. 7	197	789
	野内	パール 耳吊り 丸篭	2	7. 7	0.0	3. 0	6.5	33. 1	11.9	36. 1	37. 6	24. 3	194	522
		計 平均	2	7.7	0.0	3.0	6. 5	33. 1	11. 9	36. 1	37.6	24. 3	194	522
	久栗坂	パール 耳吊り 丸篭	2	11.2	1. 1	0.0	6. 7	31. 7	12.0	38. 0	25. 0	24. 1	193	770
		計平均	2	11.2	1. 1	0.0	6. 7	31. 7	12.0	38. 0	25. 0	24. 1	193	770
-	小 計	デール パール 耳吊り 丸篭	16	10.6	0. 9	0.6	6. 7	33. 7	11.9	35. 2	28. 8	20. 2	170	713
		計平均	16	10. 6	0. 9	0.6	6. 7	33. 7	11.9	35. 2	28.8	20. 2	170	713

付表2-2 春季実態調査結果(組合・養殖方法別)(続き)

漁協	協・支所	養殖方法	調査	へい死率		ポリドラ異常貝	殻長	全重量	軟体部	軟体部	連間隔		収容数	
<u> </u>		の区分	連数	(%)	(%)	(%)	(cm)	(g)	重量 (g)	指数	(cm)	(枚/段)	(枚/連)	(枚/m)
		パール 耳吊り 丸篭	3	17. 4 0. 5	0. 0 0. 0	1. 4 0. 0	4. 0 7. 1	28. 1 41. 8	9. 1 15. 0	32. 6 35. 9	12. 6 16. 0	29. 9	271 190	2, 301 1, 188
		計	4										+	
		平均		4. 2	0.0	0.3	6.5	38.8	13. 7	35. 2	15. 2	29. 9	208	1, 430
	茂浦	パール耳吊り	3	16. 8 2. 4	0. 6 0. 0	0. 0 0. 0	6. 9 7. 0	34. 1 39. 7	12. 4 14. 9	36. 3 37. 7	19. 7 33. 5	18. 7	162 196	862 586
		丸篭 計	6				 -							
		平均 パール	3	3. 6 26. 3	0. 1 2. 5	0.0	7. 0 6. 5	39. 2 32. 2	14. 7	37. 6	32. 3	18. 7 22. 2	193	1, 371
平		エール 耳吊り 丸篭	3	3. 4	2. 5 1. 1	0. 0 0. 0	7. 1	39. 7	11. 2 15. 3	35. 4 38. 5	14. 8 16. 8	22.2	180 172	1, 371
		計平均	6	5.3	1. 2	0.0	7. 1	39. 1	15. 0	38. 3	16. 6	22. 2	173	1, 075
		パール	5	2. 4	0. 5	1. 7	7. 2	37. 6	13. 6	36. 0	28. 0	16. 1	91	357
内	東田沢	耳吊り 丸篭	3	2.3	0.6	4. 9	6.9	38. 3	14. 4	37. 6	28. 4		157	551
		計平均	8	2. 3	0. 6	4. 3	7. 0	38. 1	14. 2	37. 3	28. 3	16. 1	145	515
		パール	7	5. 1	4. 2	0.6	7. 1	36. 3	13.0	35. 8	30. 9	20. 2	162	565
町		耳吊り 丸篭	4	3. 7	2. 5	2.7	7.3	43. 1	16. 1	37. 4	28.3		123	464
		計 平均	11	3. 9	2.8	2.3	7. 3	41.8	15. 5	37. 1	28. 7	20. 2	130	482
	New Later	パール	4	5. 2	1. 5	0.0	6.8	34. 1	12. 2	35. 7	25. 0	22. 3	223	891
	清水川	耳吊り 丸篭	6	0.8	1.4	0.0	6.8	35. 1	13. 4	38. 1	32.7		165 	535
		計 平均	10	1. 1	1. 4	0.0	6.8	35. 1	13. 3	37. 9	32. 1	22. 3	169	560
		パール	25	11.4	1.6	0.6	6.5	34. 1	12. 1	35. 4	22.6	21. 1	176	987
	小 計	耳吊り 丸篭	20 0	2. 2	1. 0	0.8	7. 0	38. 8	14. 7	37. 8	27. 6		170	688
		計 平均	45	3. 2	1. 0	0.8	7.0	38. 3	14. 4	37. 5	27. 0	21. 1	171	722
		パール	4	1.8	0.8	0.0	6.7	30. 2	10.7	35. 5	41.4	20.8	208	522
野	辺地町	耳吊り 丸篭	$-\frac{4}{8}$	1. 2	0.4	0. 5	7. 2	41.1	15. 0	36. 5	47. 4		156	329
		計 平均		1. 5	0.6	0.3	7.0	36. 2	13. 1	36. 0	44. 7	20.8	179	417
村	黄浜町	パール耳吊り	0 8	0.8	0.0	0.0	7.0	38. 2	13.8	36. 1	52. 0		140	291
		丸篭 計	$-\frac{0}{8}$										+	
		平均	O	0.8	0.0	0.0	7.0	38. 2	13.8	36. 1	52. 0		140	291
E	田名部	パール 耳吊り	2 0	0.3	0.0	0.0	5. 7	19.8	6.8	34. 3	30. 0	47. 6	381	1, 268
		丸篭 <u></u> 計	$-\frac{0}{2}$											
		平均		0.3	0.0	0.0	5. 7	19.8	6.8	34. 3	30.0	47. 6	381	1, 268
t	ごつ市	パール 耳吊り	3	0.4	0.0	0.0	6.6	30. 1	10. 9	36. 0	63. 5	47.8	478	750
	11*	丸篭	3	0.4	0.4	0.0	6.7	33. 8	12. 1	35. 9	48.6	19. 3	180	383
		計 平均	6	$-\frac{1}{0.4}$	0.3	0.0	 	32. 5	11.7	36. 0	53. 7	29. 0	282	508
,	II	パール	1	0.0	4. 0	0.0	6. 7	31. 6	10.6	33. 5	60.0	14. 6	117	195
	川内町	耳吊り 丸篭	0 - <u>5</u> - 6	<u>0.2</u>	1.3	0_3_	6.6	<u>30. 6</u>	10.8	<u>35.0</u>	<u>57.6</u>	<u>28. 6</u>	<u>286</u>	486
		計平均	6	0. 2	1. 5	0. 2	6.6	30. 7	10.8	34. 9	57.8	27. 5	272	462
脇	野沢村	パール 耳吊り	2 2	0. 0 0. 7	0. 0	0. 5 0. 0	7. 0 6. 9	35. 5 37. 3	12. 6 14. 3	35. 4 38. 2	30. 0 58. 9	17. 9	143 210	477 363
		丸 <u>篭</u> 計	$-\frac{0}{4}$											
		平均		0.4	0.0	0. 2	7.0	36. 6	13.6	37. 1	47. 5		184	408
	公 亦	パール	71 34	6.7	1.0	0. 2	6.8	33.0	12.0	36. 3	42. 4	21.0	217	611 507
	全湾	耳吊り 丸篭	8	1.6 <u>0.4</u>	0. 5 0. 6	0. 5 0. 0	7. 0 <u>6. 7</u>	38. 8 33. 3	14. 4 11. 9	37. 2 35. 8	39. 1 49. 9	<u>20. 6</u>	162 <u>195</u>	507 398
		計 平均	113	5. 3	0. 9	0.3	6.9	34. 3	12. 5	36. 5	42.0	25. 3	204	578

付表3-1 春季実態調査 (パールネット) 結果の推移

調	~\\	異常	殼長	全重量	軟体部	軟体部	連間隔	1段当りの	幹綱1m当り
査年	死率	貝率	灰区	工业业 (g)	重量(g)	指数	任间桶	収容数	の収容数
度	(%)	(%)	(cm)	A	В	B/A	(cm)	(枚/段)	(枚/m)
60	2.8	1. 3	7.0	39. 9	15. 8	39. 6	54. 9	16. 0	268
61	2.8	2.0	6.6	31. 9	13. 2	41. 4	52.8	19. 3	338
62	6. 0	4.6	6. 7	34. 6	13. 0	37. 6	45.0	20. 3	432
63	2. 5	9. 1	7.2	41. 9	15. 9	37. 9	45. 6	17. 3	359
1	10.0	27.5	7.2	44. 5	17. 4	39. 1	43. 1	16. 4	388
2	2. 2	5.8	8.0	55. 1	21.4	38.8	44. 0	16. 4	372
3	2. 4	1.0	7.4	43. 9	16. 4	37. 4	42.7	17. 4	414
4	2. 4	5. 2	7.8	54. 0	21. 5	39. 8	44. 7	15. 3	363
5	1. 9	3. 4	7. 7	52. 4	20. 5	39. 1	40.8	14. 6	345
6	10. 3	6.6	7.8	55.8	25. 5	45. 7	41.8	14. 5	361
7	1.6	0. 7	7. 4	46. 6	18. 0	38. 6	44. 8	16. 0	415
8	2. 2	1.9	7. 6	49. 9	19. 9	39. 9	42. 5	15. 9	410
9	2. 1	1. 7	8.0	56. 3	22. 9	40.7	41. 2	14. 6	387
10	2.4	1.2	7.4	44. 9	16. 3	36. 3	39. 2	14. 7	402
11	1.2	1.8	7. 4	46. 3	17. 5	37.8	37.9	14. 7	432
12	3. 7	1. 1	7. 5	45. 1	17. 5	38. 8	39. 2	17. 2	540
13	3. 5	0.8	7.2	38.8	14. 1	36. 3	36. 6	17. 5	563
14	2. 4	3. 4	7.9	53. 9	22. 2	41. 0	33. 9	14. 8	515
15	3. 4	5.8	7.2	44. 0	16. 6	38. 6	33. 3	17. 6	620
16	3. 1	5. 0	7.6	49. 9	19.8	39. 8	33. 8	18. 3	632
17	6.8	3. 0	7.3	42.6	16. 1	37. 6	31. 5	17. 7	600
18	25. 6	0.6	6. 6	28.8	10.8	37. 5	29. 6	23. 1	767
19	12. 9	1.5	7. 6	46.6	19. 5	41. 5	25. 1	17. 9	740
20	3. 7	1.5	7. 2	36. 9	13. 4	36. 3	29.8	21. 9	805
21	5. 1	4.0	8. 0	55. 0	22. 2	40.2	35. 1	18. 2	606
22	10. 2	4.8	7.4	42. 4	16.8	39. 4	35. 5	20. 6	665
23	5. 2	1. 7	6.8	34. 0	12. 3	35. 9	31. 4	17.7	536
24	6. 7	1.0	6.8	33. 0	12. 0	36. 3	42.4	21.0	610
平均	5. 1	4.0	7.4	45. 0	17. 7	39. 0	39. 1	17. 3	492

付表3-2 春季実態調査結果(耳吊り)の推移

調	~\\	異常	殼長	全重量	軟体部	軟体部	連間隔	1連当りの	幹綱1m当り
查年	死率	貝率	()	(g)	重量(g)	指数	()	収容数	の収容数
度	(%)	(%)	(cm)	A	B	B/A	(c m)	(枚/連)	(枚/m)
60	2.0	2. 2	7. 1	46. 3	19. 4	41. 9	58. 5	154	277
61	4. 7	2. 9	6.8	38. 3	17. 1	44. 6	56. 5	197	331
62	4. 3	4. 2	6. 7	36. 3	13. 3	36. 6	50.0	187	385
63	3. 5	8.6	7.2	47. 6	19. 2	40. 3	47. 1	184	422
1	4. 0	25. 0	7.5	51.0	20. 3	39. 8	46. 6	172	394
2	3. 5	9. 4	8.0	60.5	23. 4	38. 7	45. 7	168	411
3	4. 5	1. 7	7.4	47.4	18. 4	38.8	42. 6	176	455
4	2.6	7. 6	8.0	58. 2	22.8	39. 2	41. 1	194	518
5	2. 4	8.8	7. 1	51.8	19.8	38. 2	37. 0	156	444
6	14. 9	4. 6	7. 9	59. 3	23. 3	39. 3	39. 9	171	485
7	3. 1	3. 2	7.8	57. 3	22. 1	38. 6	43. 6	159	451
8	2. 5	2.8	7.8	59. 0	22. 5	38. 1	40. 9	164	466
9	2. 2	4. 5	8.4	72.8	30. 3	41.6	42. 2	159	411
10	2. 2	1.5	7. 5	52. 0	17. 2	33. 1	36. 7	160	495
11	1.6	5. 9	7. 3	49. 0	17. 5	35. 7	35.8	163	507
12	4. 8	3. 5	7. 6	50. 6	18. 7	37. 0	36, 5	155	485
13	6. 9	1.9	7.4	45. 4	17. 2	38. 0	32. 4	172	605
14	1. 9	1.6	7.8	59. 3	24. 8	41.8	30. 3	163	669
15	4. 6	3. 2	7.5	51.3	20. 2	39. 4	30. 3	156	579
16	1.8	3. 3	8.0	59. 5	23. 2	39. 1	31. 3	157	591
17	2. 6	5. 1	7.3	44. 2	15. 9	35. 9	36. 1	161	510
18	6. 2	0. 5	6. 7	33. 4	12.5	37. 6	31. 7	166	597
19	1. 9	4.6	7. 6	50.0	20.6	41. 0	32. 8	167	586
20	1. 4	1. 4	7. 4	45. 6	16.9	37. 0	31. 4	163	581
21	6. 7	2. 7	8. 1	63. 2	25. 7	40.6	29. 4	167	760
22	3. 1	2.0	7. 6	49.8	19. 6	39. 3	31. 9	162	579
23	2.8	1.4	6. 9	37. 5	13. 9	36. 7	44. 3	151	371
24	1.6	0.5	7. 0	38. 8	14. 4	37. 2	39. 1	162	507
平均	3.8	4.6	7. 5	51. 0	19.8	38. 8	39. 5	167	495

付表3-3 春季実態調査結果(丸篭)の推移

調	~\\\	異常	殼長	全重量	軟体部	軟体部	連間隔	1段当りの	幹綱1m当り
査年	死率	貝率	,5,,,,	(g)	重量(g)	指数	21.4113	収容数	の収容数
度	(%)	(%)	(cm)	A	В	B/A	(cm)	(枚/段)	(枚/m)
60	1. 6	6. 6	6. 7	36. 9	14. 8	40. 1	70. 2	16. 0	241
61	1. 6	1. 5	6. 6	31. 2	14. 1	45. 2	72. 4	20. 5	282
62	4. 5	4. 6	6. 7	35. 0	12. 6	36. 0	64. 0	19. 6	301
63	3. 1	19. 3	6.8	39. 2	16. 0	40.8	65. 9	21. 0	362
1	8. 0	32. 2	7. 2	44. 6	17. 5	39. 2	58. 6	20. 6	371
2	1. 7	17. 6	7. 6	49. 9	19. 0	38. 1	68. 3	17. 4	257
3	1. 2	2. 4	7. 0	36. 9	13. 9	37. 7	62. 5	17. 2	275
4	1. 3	14. 6	7. 4	44. 6	17. 2	38. 6	58. 5	18. 9	347
5	3. 2	17.8	7. 1	40. 5	16. 3	40. 2	51. 7	17. 1	340
6	5.8	6.3	7.8	53. 5	20. 4	38. 1	48. 5	18.8	404
7	1.6	3. 6	7. 2	42. 3	15. 6	36. 9	63.8	25. 9	409
8	1. 5	5. 9	7.2	44. 8	15. 2	33. 9	45.8	15. 1	342
9	0. 9	7. 5	7. 5	51.8	22. 0	42. 5	49. 1	13.8	277
10	0. 1	1. 4	7. 2	45. 0	14. 5	32. 2	42. 9	13. 9	345
11	0.4	0.6	6. 9	40. 3	15. 7	39. 0	45, 0	13. 6	323
12	1. 2	0.7	6. 9	37.8	14. 4	38. 1	41. 9	17. 2	413
13	1. 5	0.0	6.8	32. 8	12. 5	38. 0	53. 5	20. 7	358
14	1. 2	1. 7	7. 2	41. 7	16. 7	40. 1	47. 0	22. 1	468
15	9.8	19. 3	6. 5	32. 3	11. 7	35. 9	63. 1	27. 5	430
16	1. 0	6. 9	7. 2	40. 7	16. 3	38. 9	41. 2	15. 3	358
17	4. 2	8. 4	6. 7	33. 1	11. 5	34. 9	53. 1	29. 2	533
18	1. 7	0.4	6.0	26. 3	8. 1	31. 9	55. 5	33. 4	576
19	4.8	1.0	7. 0	37. 1	14. 9	40. 3	50.9	22.0	457
20	0.6	1.4	7. 1	38. 5	14. 3	37. 1	57. 5	27. 9	463
21	1. 1	1.3	7. 2	43. 4	15. 5	35. 2	62.3	37. 9	586
22	0.6	8.8	6. 2	31. 3	12. 5	40. 2	63.0	43. 3	678
23	0.0	2.0	6. 4	28. 1	10. 1	35. 9	70. 7	36. 3	506
24	0.4	0.6	6. 7	33. 3	11. 9	35. 8	49. 9	20.6	398
平均	2. 4	7. 2	7. 0	39. 2	14. 9	38. 0	57. 0	22. 3	396

付表3-4 春季実態調査結果(全体)の推移

調査	~\\	異常	殼長	全重量	軟体部	軟体部	連間隔	幹綱1m当り
年度	死率 (%)	貝率 (%)	(cm)	(g) A	重量(g) B	指数 B/A	(cm)	の収容数 (枚/m)
60	2.2	2. 3	6.9	41.3	16.7	40.4	59.9	264
61	3.4	2. 3	6. 7	33. 9	14.8	43.7	59. 1	321
62	4. 9	4. 4	6. 7	35. 2	13. 0	36. 9	50.0	391
63	3. 1	10. 3	7. 1	43. 5	17. 1	39. 3	49. 3	379
1	6.8	26. 5	7. 3	47. 0	18. 5	39. 4	46. 2	389
2	2. 9	8. 3	7. 9	56. 5	21. 5	38. 1	47. 6	374
3	3. 3	1. 4	7. 3	44. 5	16. 9	38. 0	44. 3	431
4	2.3	6.9	7.8	54. 0	21. 3	39. 4	45. 5	407
5	2.2	6.8	7. 5	50.0	19.9	39.8	40.7	377
6	12.0	5.8	7.9	57. 1	22.7	39.8	41.3	412
7	2. 2	1. 9	7. 5	50. 3	19. 4	38. 6	45. 7	428
8	2.3	2. 6	7. 6	53. 2	20. 3	38. 2	42. 1	428
9	2. 0	3. 6	8. 1	62. 9	26. 0	41. 3	42. 6	384
10	2. 2	1. 3	7. 4	48. 3	16. 6	34. 4	38. 2	443
11	1. 3	3. 3	7. 3	46. 9	17. 4	37. 1	38. 5	453
12	4. 1	2. 2	7.5	47. 2	17.9	37. 9	38. 1	505
13	4.6	1. 2	7. 2	40. 9	15. 1	37. 0	35. 7	571
14	2. 1	2. 3	7.8	56. 2	23. 3	41. 4	32. 7	599
15	4. 2	5. 2	7. 3	46.8	18.0	38.8	33. 3	593
16	2. 4	4.3	7.8	53. 8	21. 2	39. 5	33. 1	601
17	5. 1	4.0	7. 3	42.8	15.8	36.8	34. 2	563
18	19. 1	0.6	6.6	30.0	11. 2	37. 3	31. 3	710
19	9.0	2.5	7. 5	47. 2	19.6	41.3	28.9	676
20	2. 6	1.5	7.3	40. 7	15. 0	36. 6	32.0	690
21	5. 4	3. 6	8. 0	56. 9	23. 0	40. 1	34. 4	648
22	7. 6	4. 0	7. 4	44. 5	17. 6	39. 4	35. 2	637
23	4. 4	1.6	6.8	34. 7	12. 6	36. 1	36. 5	491
24	5. 3	0.9	6. 9	34. 3	12. 5	36. 5	42.0	578
平均	4. 6	4. 5	7. 4	46. 9	18. 2	38. 8	40. 6	488

付表4 22年産貝養殖数量調査結果(平成24年4月30日現在)

	111111111111111111111111111111111111111	(トン)	603	1,698	1, 369	275	892	230	4	11	16	44	226	1, 299	5, 529	3,067	4,865	2,639	3, 271	2, 718	22, 089	718	2, 406	17	1,993	1,010	1,081	34, 557
重	成貝	(トン)	8	0	0	53	1	0	0	0	0	0	3	4	105	8	63	386	വ	10	577	262	1,713	15	1,043	887	27	4,922
売数	新貝	(トン)	10	199	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1, 338	204	1, 562	159	1, 315	1, 030	5, 608	41	202	0	0	0	644	7,009
販	半成貝	(トン)	584	1, 499	1, 369	222	191	230	4	11	16	44	223	1, 295	4,038	2,835	3, 131	2,084	1,951	1, 599	15,638	80	06	0	026	123	233	22,084
	推員	(トン)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	20	109	10	0	<u>6</u> 2 = = = =	266	2	96	1	0	0	177	542
有枚数	成貝用	(万枚)	209	496	09	127	38	18	2	4	8	33	99	170	24	226	662	204	630	231	1, 977	736	1,416	5	52	814	74	6, 136
現在の保有枚数	使用幹綱総 延 長	(m)	13,680	16,800	3,640	8, 000	6, 450	2, 300	450	800	2,000	5, 700	2,600	20,300	41,400	11,400	16,000	24, 500	31, 350	36, 550	161, 200	36, 475	56, 100	400	8, 200	37,000	5, 250	367, 045
漁協	· · 刑		外/浜町 平 舘	外/浜町 蟹 田	蓬田村	後網	奥 内	単 川 川	事業	禁 语 運	原別	市 野 内	久栗坂	4 小	上屋	平	田無	内 東田沢	小 湊	町清水川	十 十	野辺地町	横浜町	田名部	むっ市	川内町	脇野沢村	合

付表5 23年産貝養殖数量調査結果(平成24年4月30日現在)

	## 40	(万枚) (万枚)	8, 126 8, 650	11, 679 13, 764	10, 597 11, 482	1,822 2,485	11, 290 13, 362	4,924 5,666	533 602	825 1,006	2, 295 2, 679	805 1,065	4, 449 5, 130		3,035 4,114	7,696 9,512	11, 206 13, 637	5, 747 9, 844	14, 197 17, 853	7, 415 9, 779	49, 296 64, 740	5, 480 5, 480	6,715 7,384		61 61	7, 2	61 321 875	61 321 875 853
枚数	成貝用 小	(万枚) (万	218	496	103	404	1 889	149	9	16	20	38	144		2	236	709	1, 147	1, 132 1	610	4	546	3, 473	15	0.1		Ш	
の保有			398	361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	255	1,960	3, 922	2,665		, 052	264	2, 199	834 3	0			Щ	
現 在	用 新貝用	(万枚)	1	2	14	8	2	52	7.	6	5	2	5	0	.3					က်	17,		1,	46		.4	14	
	半成貝用	(万枚)	7, 511	10,822	10,494	1,418	10,702	4,775	527	808	2, 275	167	4,305	24,160	2,773	5, 500	6,575	1,935	7,655	3, 753		2, 735	1, 408	þ		2, 564	2, 564	2, 564
数量	半成貝	÷	193	630	314	208	521	203	21	99	152	83	216	1,252	419	712	821	1,096	1,529	787	5, 364	0	88	0		0	0	0 0 0
販売数量	稚貝	, , ,	0	0	0	0	142	26	1	1	0	3	0	243	0	0	96	459	0	0	555	0	168	0		0	0	0 0
惟貝)	販売先																									石持	石持	石持野
(傾難) 阳移	事 滌	(万枚)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		929	0 0	656 0 336
地まき供出	時期	(年月)					H24.5										H23.12	H24. 4		H24. 4						H24.4	H24. 4 H24. 4	H24. 4 H24. 4 H94. 4
地主き	数量	(万枚)	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	20	0	0	98	16	0	120	222	0	0	0		2, 319		
使用幹綱	総矩長	(m)	121,080	133, 440	116,700	100,300	189, 750	62, 100	8,900	25,800	52,000	14,400	44,500	397, 450	65,600	148, 400	189,800	199, 700	344, 400	175,500	Ţ,	174, 200	492, 300	1,600		144,300	144, 300 96, 400	144, 300 96, 400 52, 900
養殖経営	体数	3	42	52	48	38	49	17	3	4	10	13	22	118	40	22	98	79	137	128	527	02	62	3		52	52 55	52 55
掷	胎	2	. 平 舘	.蟹田	1 村	緩	i 内	三無	株	東東	頁 別	予內	、栗坂		幽	無	田無	耳田沢	〉藻	事水川	小計	野辺地町	<u>د</u> ات	7 辛12		E	5 引 町	Π.
	•	<	外⁄浜町	外/浜町	蓬 田	後	本	烘	ЩЩ	注	画	ĦH.	4	7	Н	† ℃	烘	ŢЩ.	$\stackrel{\leftarrow}{\sim}$	淖	7	ZJ.	横浜	田 名		?	~ √ Æ	時間に対象を

付表6 平成24年産稚貝採取予定数量および利用計画

	#1	利用率(%)	0.0	0.0	6.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	0.0	0.4	0.2	0.0	0.2	0.2	29.6	0.0	0.0	35.5	26.1	3.1	3.2
奉		() ()																										
	4	五	8,521	9,929	5,360	2,600	20,030	6,062	069	1,000	3, 261	2,000	5,698	38, 741	6,550	12,830	19,803	10,018	15,010	52,620	116,831	7,780	6,961	108	7,050	4,436	2,590	210,907
橿		放流密度 (粉/㎡)			6.0		30.0							30.0	0.8		2.2	3.6		4.8		2.5			7.1	7.7	2.7	4.1
	地が、新田	放流面積(ヘクタール)	\		09		1								20		40	വ		25	120	912			350	150	30	1,623
		放流時期 (年日)			H24.12		H25. 5								H25. 5		H24.12	H25. 4		H25.3	 	H24.11			H25.4	H25.4	H25.4	
		放流枚数 (万格)	0	0	360	0	30	0	0	0	0	0	0	30	40	0	98	18	0	120	264	2,300	0	0	2, 500	1, 160	80	6,694
用	H 4	华 中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	315	0	300	615
平	養 殖 用	小計(元松)	8, 521	9, 929	5,000	2,600	20,000	6,062	069	1,000	3, 261	2,000	5, 698	38, 711	6, 510	12,830	19,717	10,000	15,010	52, 500	116, 567	5,480	6,961	108	4,235	3,276	2,210	203, 598
		成月		200	200	1,400	200	220	15	20	61	200	185	1,231	300	1,320	1,612	1,000	1,322	2,500	8,054	546	3,921	15	1, 293	2,784	195	20,659
		新 貝(万粉)		363	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	810	3,640	7, 378	3,000	6, 248	30,000	0	2, 199	2, 238	0	0	0	1, 280	57, 555
		半成貝(万松)	7, 902	9, 066	4, 500	1, 200	19, 500	5,842	675	950	3, 200	1,800	5, 513	37, 480	5, 400	7,870	10,727	6,000	7,440	20,000	57, 437	2, 735	802	93	2, 942	492	735	125, 384
	養殖業	者 数	42	52	48	32	49	17	3	4	10	13	22	118	40	22	98	62	137	120	519	70	62	2	52	22	32	1,104
探 取 計 画	一人当	森 苗 教(九孝)	286	288	104	81	510	371	267	250	400	154	327	392	165	225	230	253	150	438	255	111	88	27	144	81	81	220
	1 本	4 田	12,000	15,000	5,000	2,600	25,000	6,300	800	1,000	4,000	2,000	7, 200	46, 300	6,612	12,830	19,804	20,000	20,550	52, 500	132, 296	7, 780	6,961	108	7,500	4,436	2,590	242, 571
	4 年	米田 本 ()	42	52	48	32	49	17	33	4	10	13	22	118	40	57	98	62	137	120	519	02	62	4	52	22	32	1, 103
+1 #2		三人・昼野	外孫町平舘	外が浜町蟹田	蓬田 村	後鴻	圏内	単一川	丰	型 型 类	原別	市野内	久栗坂	## -{-	中屋	平茂浦	田無	内 東田沢	小秦	町清水川	 	野辺地町	横浜町	田名部	むっ市	川内町	脇野沢村	√ □